

2023（令和5）年度 第2回八尾市外国人市民会議【会議録概要】

日時：2024年2月8日（火） 午後7時から午後8時30分まで

場所：八尾商工会議所3階 多目的室

出席委員：野中 モニカ、桑名 恵、李 昌宰、ジェレミー カールソン、清原 沙知子、朴 洋幸
ダーリントン ティカス イブラヒム、王 翠珍、山内 雅之（敬称略）

事務局（人権政策課）：宮崎課長、阪田課長補佐、富田係長、岸本副主査

1. 開会

2. 八尾市多文化共生推進計画2022年度実績（基本目標2・3）の報告について

「資料1」について事務局より説明。

<質問など>

- ・「NO. 37 3者間通話を活用した多言語での救急対応」にある3者間通話とは、どのような仕組みのものを利用しているのか。民間のサービスなのか。どの場面で使われているのか。
⇒（事務局）詳細について確認しておく。
- ・「NO. 39 保育利用に関する多言語での情報提供」の50部発行20部配布は、どこで、誰を対象に配布しているのか。必要としている人がいるので、確実に届く方法を考えてほしい。
⇒（事務局）担当課に確認しておく。
- ・「NO. 68 コミュニケーションサポーターの派遣」の介護認定調査で外国語1件というのは、中国語か。もし多言語対応できるのであれば、介護事業所やケアマネジャーなどに情報提供することで、スムーズに介護の知識がある通訳者につなぐことができる。
⇒（事務局）おそらく中国語である。今後、外国人市民の高齢化も進むため、この事業の対応言語を確認しておく。
- ・「NO. 113 町会への加入促進」にある町会加入率はどのくらいなのか。
⇒（事務局）全市民からみて50%未満。外国人市民だけの加入率は不明。多言語のチラシ発行やイベントにおける周知など、様々な方面から加入促進を図っているが、外国人市民に関わらず町会加入率を伸ばすことは難しい。
- ・「NO. 113 町会への加入促進」のちらしに英語はないのか。現在、ネパール籍の方等も増えているため、災害時に発信する言語も含めて、翻訳言語を増やすことを検討した方がよい。
⇒ちらしについては、中国語とベトナム語の2言語になっている。
- ・「NO. 33 外国人市民のための防災訓練の実施」に対する評価が「C」だが、町会と連携して実施できないのか。外国人市民は、防災訓練の情報が入りにくいのが、今年の1月に能登半島地震が発生し、防災への関心が高まっているため、ぜひ次年度は訓練を実施してほしい。
⇒（事務局）避難所生活の不安の声もあり防災訓練の必要性は感じている。次年度、外国人市民を対象とした防災訓練を実施できるよう、担当課と協議していく。

3. 意見交換 テーマ

資料2について事務局より説明。

<意見交換>

- ・八尾市職員に、外国人市民に対する知識・歴史的経緯を学んでほしい。年金受給できない外国人がいる理由、八尾市でたくさんのベトナム人が生活している理由を知っている人は少ないと思う。また外国人を受け入れ、共生することで発展してきた八尾市に誇りを持ってもらいたい。
- ・興味・関心が少ない職員も含め、多くの職員に外国人市民会議の想いや考えを届けたい。
- ・外国人市民会議の想いを八尾市職員が受け取るだけでは終わらないような研修にしたい。
- ・外国人市民会議の意見は、八尾市に住む外国人市民全員の総意ではないこと伝える必要がある。
- ・八尾市職員から、窓口対応時に困ったことや悩んだことなど質問を受けるのも良い方法だと思う。
- ・通訳者を依頼すると、長時間待たなくてはいけない。ある程度の日本語ならわかるが、日本語ばかりで難しいので、いくつかの単語だけでも英語表記をしてほしい。
- ・異文化交流をする機会や外国人市民どうしが英語で行うワークショップをしてほしい。
- ・外国人市民が行政に対して自由に発言できる「オンライン目安箱」がほしい。
- ・八尾市内で、自分の力で仕事が探せるよう、外国人の就労支援に力を入れてほしい。外国人市民だとわかると、梅田の施設を案内されてしまう。
- ・外国人市民に対する行為が、「してあげている」という気持ちになっているのではないか。その気持ち自体が、八尾市が目指す多文化共生とは言えないのではないか。
- ・外国人のこどもたちのアイデンティティを大事にしてほしい。
- ・市役所に行くのに勇気があるので、丁寧に対応してほしい。
- ・外国人市民にとって八尾市国際交流センターの存在はありがたい。
- ・市役所の機能は国によって違う。日本の市役所の役割、何ができるのかを外国人市民に教えてほしい。
- ・市役所の課名だけを見ても、何ができる課なのか分からないので、簡単な説明文がほしい。
- ・庁舎内の各階フロアマップがほしい。
- ・外国人市民からよく聞かれることをQ&Aとしてまとめて示してほしい。
- ・災害時の避難所はどんな機能があるのかを外国人市民に周知してほしい。避難所へ行くまでの避難支援と安否確認対策班を作ってほしい。SNS等で外国人へのよくない噂も出るため、怖くて行きにくい。

4. その他

- ・2023年度第1回八尾市外国人市民会議の際の意見に基づき、多言語情報発信「やおがる」のチラシを修正し、4月以降に配布する旨報告。
- ・次回は2024年7月以降に実施予定。2024年4月に日程調整のメールを送付する旨を事務局より説明。

5. 閉会